

下京のひびき

市民しんぶん下京区版

11・15

推計人口	男	女
73,618人	34,213人	39,405人
世帯数	36,832世帯	
(平成15年10月1日現在)		



備えあれば 憂いなし

下京区総合防災訓練

いざというときの確に行動できますか？

突然、大規模な地震に襲われたとき、あなたはどのように行動しますか。いざというとき、的確に行動するためには、常日ごろからの心構えと訓練の積み重ねが重要です。

下京区防災会議では、区民の皆さんに正しい防災知識と的確な行動力を身につけていただくため、今年も総合防災訓練を実施します。皆さん、積極的にご参加ください。



救出!

当日は、午前9時に京都府南部を震源とする直下型地震が発生し、区内に多数の被害が発生しているとの想定で訓練を行います。

日時 12月7日(日)
午前9時～11時30分

場所 梅小路公園

主催 下京区防災会議

問合せ 企画総務課

自主防災会による訓練内容

区民の皆さんの参加により行う、自主防災会による訓練の主な内容は次のとおりです。

避難所運営訓練 梅小路公園へ避難すると、自主防災会ごとに避難集合同場所を設営し、応急給食・給水訓練、避難所ごみ対策訓練を行います。また、仮設トイレ組立訓練や浄水装置取扱い訓練も実施します。

救出救護訓練 防災器材を使用して、模擬倒壊建物などから要救助者を救出し、応急救護所まで搬送します。

初期消火訓練 水消火器及びバケツリレーによる消火訓練を実施します。



消火!



京都市長 樹本 頼兼

災害に強いまちづくりを

昨今、西日本の活断層が活動期に入り、京都でも大きな被害をもたらす大地震がいつ発生しても不思議でないと言われて

います。京都市では、災害から市民の皆様の生命と財産を守るため、防災水利構想の推進や新たな地震被害想定策定など、総合的な防災対策を推進しております。

しかしながら、大地震による被害を最小限に食い止めるには、行政の取組とともに市民の皆様一人ひとりが、「自分の身の安全は自らが守る」「自分たちのまちを自分たちで守る」という防災の基本に立ち、備えていただくことが大切です。

下京区総合防災訓練への区民の皆様のご積極的なご参加・ご協力をお願い致します。

であいふれあい町衆のまち いきいき下京

